

平成 28 年度横浜市総合教育会議の開催について

昨年 4 月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、平成 28 年度横浜市総合教育会議を開催しました。

1 開催概要

- ・日 時：平成 28 年 9 月 2 日（金）午後 2 時 30 分から 3 時 30 分まで
- ・会 場：関内新井ホール
- ・出席者：市長、教育長、教育委員 5 名
- ・同席者：副市長 3 名、関係区局長 12 名
- ・傍聴者：12 名
- ・議 題：「横浜ならではの資産を生かした多様な教育機会の創出」
～子どもたちの「本物」体験の充実に向けて～
- ・次 第
 - (1) 開会：林市長挨拶
 - (2) 協議：横浜ならではの資産を生かした多様な教育機会の創出
 - ・現状と課題（教育次長発表）
 - ・次世代育成の取組とねらい（市民局長・文化観光局長・環境創造局長発表）
 - ・意見交換
 - ・まとめ

2 主な意見（要旨）

<教育委員・教育長の意見>

- 「象の鼻パーク」に、「横浜から出航する岩倉使節団」の様子を描いた絵をレリーフにして設置してはいかがか。それを見せることで、子どもたちには、当時の人たちの新しい国づくりに向けた真摯な姿勢やチャレンジ精神を伝えたい。
- 2009 年に横浜で開催した「世界こどもスポーツサミット」のようなイベントなど、“オール横浜”でスポーツを通じた様々な機会を用意したい。また、子どもたちが横浜ゆかりのオリンピック・パラリンピアンやプロスポーツ選手と触れ合う機会を増やし、スポーツを楽しむだけでなく「オリンピズム」の精神も伝えたい。
- 子どもたちの表現活動の発表の場を確保するため、市内文化施設の優先利用に期待。小さい頃から質の高い芸術文化に触れることで人を思いやる心や感性を育むことができるので、心のふれあいコンサートや芸術文化教育プログラムは続けていきたい。
- 子どもたちが自立して生きる力や豊かな感性を育む環境をつくるのは大人の責任。大人自身も豊かな体験をし、学び合い、発信することができる場が必要と考える。

- 横浜は歴史的に外国に開かれた都市で、多様性こそが横浜の資産。例えば、「Y-Step」と名付けた創作ダンスのコンテストを実施し、「Y-Pop」と名付けたテーマ曲を世界各国のメロディに合わせて編曲したり、多言語に翻訳する中で、違いを尊重し合えたら素晴らしい。それにより、横浜は、いじめのない最先端都市になるのではないか。
- 自然体験の豊富な子どもは自己肯定感や正義感が養われるとのデータがあり、区局のご協力をいただいて、学校の授業以外でも様々な自然体験をさせたい。

<市長の意見>

- 城下町や門前町のあるところは観光名所になりますが、横浜にはありません。文明開化は観光資源になりにくく、岩倉使節団はドラマなどに取り上げられていますが、中まで踏み込んだものはなかなかないのが現状です。子どもたちにはもっと横浜の歴史や文化に親しんでほしいと思います。
- 「世界こどもスポーツサミット」は非常に有意義でした。そのような機会があれば、横浜でやっていきたいと思っています。
- 横浜ではオペラやバレエを一堂に見る機会がないのは残念です。子どもたちには小さい頃から総合芸術を鑑賞する機会を提供し、伝統文化も含めた様々な芸術文化に親しみ、豊かな感性を育んでもらいたいと思います。今後、民間企業のご協力を得て総合芸術を上演できるような劇場を作っていけるとよいと考えます。
- 人づくりが非常に大切であり、そのためには大人たちが学び続けなければいけないと考えます。
- 本市では2011年からDance Dance Dance @ YOKOHAMAを実施してきた土壌があるので「Y-Step」は面白いアイデアだと思います。
- 「本物」体験を充実させるためには、関係区局との連携も非常に大切だと考えますが、課題は予算であり、有効に使うことが大切です。子どもたちの体験に予算をもう少しかけたいと痛切に思いますが、横浜市のみならず日本全体が先進国に比べて、施設老朽化にお金を使うことが多く、教育にかける予算が非常に少ない状況です。
- 総合教育会議での意見交換を通じて、生き生きと心豊かな子どもを育てるために、“オール横浜”で「体験型」により本物に触れる機会をつくっていくことの重要性を再確認することができました。

【参考1】総合教育会議の位置づけ

すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置することとされており、地方公共団体の長が招集します。大綱の策定や教育に関する重点的に講ずべき施策などについて、議論することとされています。

【参考2】横浜市教育大綱（平成27年9月策定）（抜粋）

第2章 重点方針～“オール横浜”で進める横浜の教育～

- 重点方針 1 まち全体で子どもを育む教育の推進
- 重点方針 2 横浜ならではの資産を生かした多様な教育機会の創出
- 重点方針 3 子どもの豊かな学びを支える教育環境づくり